

◎核兵器の不拡散に関する条約

(略称) 核兵器不拡散条約

昭和四十三年七月一日 ロンドン、モスクワ及び
ワシントンで作成

昭和四十五年三月五日 効力発生

我が国署名

昭和五十一年五月二十四日 国会承認

昭和五十一年六月八日 批准書寄託

昭和五十一年六月八日 公布及び告示

(条約第六号及び
外務省告示第一二二号)

昭和五十一年六月八日 我が国について効力発生

目次

前文

ページ

第一条 核兵器国の核兵器等の移譲の禁止及び核兵器等の製造等についての非核兵器国

四〇五

第二条 対する援助等の禁止

四〇六

第三条 非核兵器国による核兵器等の受領、製造等の禁止

四〇七

第四条 非核兵器国による保障措置の受諾、国際原子力機関との保障措置協定の締結等

四〇七

第四条 原子力の平和的利用、設備、資材、情報の交換に関する締約国の権利等	四〇九
第五条 核爆発の平和的応用の利益の非核兵器国による享受	四〇九
第六条 核軍備競争の停止、核軍縮の効果的措置、全面完全軍縮条約に関する交渉	四一〇
第七条 地域的条約を締結する権利との関係	四一〇
第八条 条約の改正、条約運用の検討会議等	四一〇
第九条 署名、批准、加入、効力発生、「核兵器国」の定義等	四一一
第十条 脱退及び有効期間	四一二
第十二条 正文及び寄託	四一三
末文	四一三

核兵器の不拡散に関する条約

TREATY ON THE NON-PROLIFERATION OF NUCLEAR WEAPONS

The States concluding this Treaty, hereinafter referred to as the "Parties" to the Treaty."

Considering the devastation that would be visited upon all mankind by a nuclear war and the consequent need to make every effort to avert the danger of such a war and to take measures to safeguard the security of peoples,

Desiring that the proliferation of nuclear weapons would seriously enhance the dangers of nuclear war, and to take measures to safeguard the security of peoples;

In conformity with resolutions of the United Nations General Assembly calling for the conclusion of an agreement on the prevention of wider dissemination of nuclear weapons,

核兵器の拡散が核戦争の危険を著しく増大させるものであることを信じ、

核兵器の一層広範にわたる分散の防止に関する協定を締結することを要請する国際連合総会の諸決議に従ふ、

平和的な原子力活動に対する国際原子力機関の保障措置の適用を容易にして協力することを約束し、

一定の極必要な箇所において機器その他の技術的手段を使用することにより原料物質及び特殊核分裂性物質の移動に対して効果的に保障措置を適用するという原則を、国際原子力機関の保障措置制度のわく内で適用することを促進するための研究、開発その他の努力に対する支持を表明し、

核技術の平和的応用の利益（核兵器国が核爆発装置の開発から得ることができるすべての技術上の副産物を含む。）が、平和的目的のため、すべての締約国（核兵器国であるか非核兵器国であるかを問わなくとも）に提供されるべくであるとし、この原則を認し、

この原則を適用するに当たり、すべての締約国が、平和目的のための原子力の応用を一層発展させるため可能な最大限度まで科学的情報を交換することに参加し、及び単独で又は他の

国と協力してその応用の一層の発展に貢献する権利を有することを確信し、

核軍備競争の停止をできる限り早期に達成し、及び核軍備の縮小の方向で効果的な措置をとる意図を宣言し、

この目的の達成についてすべての国が協力することを要請し、一千九百六十三年の大気圏内、宇宙空間及び水中における核兵器実験を禁止する条約の締約国が、同条約前文において、核兵器のすべての実験的爆発の永久的停止の達成を求め及びそのために交渉を継続する決意を表明したことを想起し、

厳重かつ効果的な国際管理の下における全面的かつ完全な軍備縮小に関する条約に基づき核兵器の製造を停止し、貯蔵されたすべての核兵器を廃棄し、並びに諸国の軍備から核兵器及びその運搬手段を除去することを容易にするため、国際間の緊張の緩和及び諸国間の信頼の強化を促進することを希望し、

諸国が、国際連合憲章に従い、その国際関係において、武力による威嚇又は武力の行使を、いかなる国の領土保全又は政治的独立に対するものも、また、国際連合の目的と両立しない他のいかなる方法によるものも慎まなければならないこと並びに国際の平和及び安全の確立及び維持が世界の人的及び経済的資源の軍備のための転用を最も少なくして促進されなければならないことを想起して、

次のとおり協定した。

第一条

締約国である各核兵器国は、核兵器その他の核爆発装置又は

等の核兵器等の禁止及
止助対兵器等の非核
止等の核移譲器
止の禁援に非核
止の禁援に非核

非核
止の禁製の核兵
止の禁製の核兵

非核
止の禁製の核兵
止の禁製の核兵

1 締約国である各非核兵器国は、原子力が平和的利用から核兵器その他の核爆発装置に転用されることを防止するためこの条約に基づいて負う義務の履行を確認することのみを目的として国際原子力機関憲章及び国際原子力機関の保障措置制度に従い国際原子力機関との間で交渉しかつ締結する協定に定められる保障措置を受諾することを約束する。この条の規定によつて必要とされる保障措置の手続は、原料物質又は特殊核分裂性物質につき、それが主要な原子力施設において生産され、処理され若しくは使用されているか又は主要な原子力施設の外にあるかを問わず、遵守しなければならない。

締約国である各非核兵器国は、核兵器その他の核爆発装置又はその管理をいかなる者からも直接又は間接に受領しないこと、核兵器その他の核爆発装置を製造せず又はその他の方法によって取得しないこと及び核兵器その他の核爆発装置の製造にいかなる援助をも求めず又は受けないことを約束する。

第三条

第一条

その管理をいかなる者に対しても直接又は間接に移譲しないこと及び核兵器その他の核爆発装置の製造若しくはその他の方法による取得又は核兵器その他の核爆発装置の管理の取得につきいかなる非核兵器国に対しても何ら援助、奨励又は勧誘を行わないことを約束する。

indirectly; and not in any way to assist, encourage, or induce any non-nuclear-weapon State to manufacture or otherwise acquire nuclear weapons or other nuclear explosive devices, or control over such weapons or explosive devices.

ARTICLE III

ARTICLE III
Each non-nuclear-weapon State Party to the Treaty undertakes not to receive the transfer from any transferor whatsoever of nuclear weapons or other nuclear explosive devices, or of control over such weapons or explosive devices, directly, or indirectly; not to manufacture or otherwise acquire nuclear weapons or other nuclear explosive devices; and not to seek or receive any assistance in the manufacture of nuclear weapons or other nuclear explosive devices.

ARTICLE III
1. Each non-nuclear-weapon State Party to the Treaty undertakes to accept safeguards, as set forth in an agreement to be negotiated and concluded with the International Atomic Energy Agency in accordance with the Statute of the International Atomic Energy Agency, for the exclusive purpose of verification of the fulfillment of its obligations assumed under this Treaty with view to preventing diversion of nuclear energy from peaceful uses to nuclear weapons or other nuclear explosive devices. Procedures for the safeguards required by this Article shall be followed with respect to source or special fissionable material whether it is being produced, processed, or used in any principal nuclear facility, or is outside any such facility. The safeguards required by this Article shall be applied on all source or special fissionable material in all peaceful nuclear activities, within the territory of such State, under its jurisdiction, or carried out under its control anywhere.

この条の規定によつて必要とされる保障措置は、当該非核兵器の領域内若しくはその管轄下で又は場所のいかんを問わずその管理の下で行われるすべての平和的な原子力活動に係るすべての原料物質及び特殊核分裂性物質につき、適用される。

2 各締約国は、(a)原料物質若しくは特殊核分裂性物質又は(b)特殊核分裂性物質の処理、使用若しくは生産のために特に設計され若しくは作成された設備若しくは資材を、この条の規定によつて必要とされる保障措置が当該原料物質又は当該特殊核分裂性物質について適用されない限り、平和的目的のためにいかなる非核兵器国にも供給しないことを約束する。

3 この条の規定によつて必要とされる保障措置は、この条の規定及び前文に規定する保障措置の原則に従い、次条の規定に適合する態様で、かつ、締約国の経済的若しくは技術的發展又は平和的な原子力活動の分野における国際協力（平和的目的のため、核物質及びその処理、使用又は生産のための設備を国際的に交換することを含む）を妨げないような態様で、実施するものとする。

4 締約国である非核兵器国は、この条に定める要件を満たすため、国際原子力機関憲章に従い、個々に又は他の国と共同して国際原子力機関と協定を締結するものとする。その協定の交渉は、この条約が最初に効力を生じた時から百八十日以内に開始しなければならない。この百八十日の期間の後に批准書又は加入書を寄託する国については、その協定の交渉は、当該寄託の日までに開始しなければならない。その協定は、交渉開始の日の後十八箇月以内に効力を生ずるものとする。

2. Each Non-nuclear-weapon State Party to the Treaty undertakes not to provide (a) source or special fissile material or (b) equipment or material especially designed or prepared for the processing, use or production of special fissile material, to any non-nuclear-weapon State for peaceful purposes, unless the source or special fissile material shall be subject to the safeguards required by this Article.

3. The safeguards required by this Article shall be implemented in a manner designed to comply with Article IV of this Treaty, and to avoid hampering the economic or technological development of the Parties or international cooperation in the field of peaceful nuclear activities, including the international exchange of nuclear material and equipment for the processing, use or production of nuclear material for peaceful purposes in accordance with the provisions of this Article and the principle of safeguarding set forth in the Preamble of the Treaty.

4. Non-nuclear-weapon States Party to the Treaty shall conclude agreements with the International Atomic Energy Agency to meet the requirements with his Article either individually or together with other States in accordance with the Statute of the International Atomic Energy Agency. Negotiation of such agreements shall commence within 180 days from the original entry into force of this Treaty. For States depositing their instruments of ratification or accession after the 180-day period, negotiation of such agreements shall commence no later than the date of such deposit. Such agreements shall enter into force not later than one year months after the date of initiation of negotiations.

第四条

原子力の平和的利用のための設備、資材の交換に付する権利の総合的な規約を結ぶことを目的とする。

- 1 この条約のいかなる規定も、無差別にかつ第一条及び第二条の規定に従つて平和的目的のための原子力の研究、生産及び利用を发展させることにつけてのすべての締約国の奪い得ない権利に影響を及ぼすものと解してはならない。
2 すべての締約国は、原子力の平和的利用のため設備、資材並びに科学的及び技術的情報を可能な最大限度まで交換することを容易にすることを約束し、また、その交換に参加する権利を有する。締約国は、また、可能なときは、单独で又は他の国若しくは国際機関と共同して、世界の開発途上にある地域の必要に妥当な考慮を払つて、平和的目的のための原子力の应用、特に締約国である非核兵器国の中におけるその应用の一層の发展に貢献することに協力する。

第五条

各締約国は、核爆発のあらゆる平和的應用から生ずることとの利益が、この条約に従つて適當な国際的監視の下でかつ適當な国際的手続により無差別の原則に基づいて締約国である非核兵器国に提供されること並びに使用される爆発装置についてその非核兵器国に負担する費用が、できる限り低額であり、かつ、研究及び開発のためのいかなる費用をも含まないことを確保するため、適當な措置をとることを約束する。締約国である非核兵器国は、特別の国際協定に従つて、非核兵器国が十分に代表さ

Article IV

1. Noting in this Treaty shall be interpreted as affecting the inalienable right of all the Parties to the Treaty to develop research, production and use of nuclear energy for peaceful purposes without discrimination and in conformity with Articles I and II of this Treaty.

2. All the Parties to the Treaty undertake to facilitate, and have the right to participate in, the fullest possible exchange of equipment, materials and scientific and technological information for the peaceful uses of nuclear energy. Parties to the Treaty in a position to do so shall also co-operate in contributing alone or together with other States or international organizations to the further development of the applications of nuclear energy for peaceful purposes, especially in the territories of non-nuclear-weapon States Party to the Treaty, with due consideration for the needs of the developing areas of the world.

Article V

Each Party to the Treaty undertakes to take appropriate measures to ensure that, in accordance with this Treaty, under appropriate international observation and through appropriate international procedures, potential benefits from any peaceful applications of nuclear explosions will be made available to non-nuclear-weapon States Party to the Treaty on a non-discriminatory basis and that the charge to such Parties for the explosive devices used will be as low as possible and exclude any charge for research and development. Non-nuclear-weapon States Party to the Treaty shall be able to obtain such benefits, pursuant to a special international agreement or agreement, through an appropriate international body with adequate representation of non-nuclear-weapon States. Negotiations on this subject shall commence as soon as possible after the Treaty enters into force. Non-nuclear-weapon States Party to the Treaty so desiring may also obtain such benefits pursuant to bilateral agreements.

れている適当な国際機関を通じてこのようない利益を享受することができる。この問題に関する交渉は、この条約が効力を生じた後できる限り速やかに開始するものとする。締約国である非核兵器国は、希望するときは、二国間協定によつてもこのような利益を享受することができる。

第六条

各締約国は、核軍備競争の早期の停止及び核軍備の縮小に関する効果的な措置につき、並びに厳重かつ効果的な国際管理の下における全面的かつ完全な軍備縮小に関する条約について、誠実に交渉を行うことを約束する。

第七条

この条約のいかなる規定も、国の集団がそれらの国の領域に全く核兵器の存在しないことを確保するため地域的な条約を結ぶる権利に対し、影響を及ぼすものではない。

第八条

1. いづれの締約国も、この条約の改正を提案することができる。改正案は、寄託国政府に提出するものとし、寄託国政府は、これをすべての締約国に配布する。その後、締約国の三分の一以上の要請があつたときは、寄託国政府は、その改正を審議するため、すべての締約国を招請して会議を開催する。

ARTICLE VII
Article VII
Nothing in this Treaty affects the right of any group of States to conclude regional treaties in order to assure the total absence of nuclear weapons in their respective territories.

ARTICLE VIII
Article VIII
1. Any Party to the Treaty may propose amendments to this Treaty. The text of any proposed amendment shall be submitted to the Depositary Government which shall circulate it to all Parties to the Treaty. Thereupon, if requested to do so by one-third or more of the Parties to the Treaty, the Depositary Government shall convene a conference to which they shall invite all the Parties to the Treaty, to consider such an amendment.

この条約のいかなる改正も、すべての締約国の過半数の票（締約国であるすべての核兵器国の中の票及び改正案が配布された日に国際原子力機関の理事国である他のすべての締約国の票を含む）による議決で承認されなければならぬ。その改正は、すべての締約国の過半数の改正の批准書（締約国であるすべての核兵器国の中の改正の批准書及び改正案が配布された日に国際原子力機関の理事国である他のすべての締約国の中の改正の批准書を含む）が寄託された時に、その批准書を寄託した各締約国について効力を生ずる。その後は、改正の批准書を寄託する他のいずれの締約国についても、その寄託の時に効力を生ずる。

前文の目的の実現及びこの条約の規定の遵守を確保するようこの条約の運用を検討するため、この条約の効力発生の五年後にスイスのジュネーヴで締約国会議を開催する。その後五年ごとに、締約国の過半数が寄託国政府に提出する場合には、条約の運用を検討するという同様の目的をもつて、更に会議を開催する。

第九条

署名、
兵生
定國
義等
の核
器人
加入
批

1 この条約は、署名のためすべての国に開放される。この条約がこの規定に従つて効力を生ずる前にこの条約に署名しない国は、いつでもこの条約に加入することができます。

2 この条約は、署名国によつて批准されなければならぬ。批准書及び加入書は、ここに寄託国政府として指定されるグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国、ソヴィエト社会主義共和国連邦及びアメリカ合衆国の政府に寄託される。

ARTICLE IX

1. This Treaty shall be open to all States for signature. Any State which does not sign the Treaty before its entry into force in accordance with paragraph 3 of this Article may accede to it at any time.

2. This Treaty shall be subject to ratification by signatory States. Instruments of ratification and instruments of accession shall be deposited with the Governments of the United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland, the Union of Soviet Socialist Republics and the United States of America, which are hereby designated the Depositary Governments.

2. Any amendment to this Treaty must be approved by a majority of the votes of all the Parties to the Treaty, including the votes of all nuclear-weapon States Party to the Treaty and all other Parties which, on the date the amendment is circulated, are members of the Board of Governors of the International Atomic Energy Agency. The amendment shall enter into force for each Party that deposits its instrument of ratification by a majority of all the Parties, including the instruments of ratification of all nuclear-weapon States Party to the Treaty and all other Parties which on the date the amendment is circulated are members of the Board of Governors of the International Atomic Energy Agency. Thereafter, it shall enter into force for any other Party upon the deposit of its instrument of ratification of the amendment.

脱退及び
有効期間

3

この条約は、その政府が条約の寄託者として指定される国及びこの条約の署名国である他の四十の国が批准しがつその批准書を寄託した後に、効力を生ずる。この条約の適用上、「核兵器国」とは、千九百六十七年一月一日前に核兵器その他の核爆発装置を製造しがつ爆発させた国をいう。

4 この条約は、その効力発生の後に批准書又は加入書を寄託する国については、その批准書又は加入書の寄託の日に効力を生ずる。

5 寄託国政府は、すべての署名国及び加入国に対し、各署名の日、各批准書又は各加入書の寄託の日、この条約の効力発生の日、会議の開催の要請を受領した日及び他の通知を速やかに通報する。

6 この条約は、寄託国政府が国際連合憲章第百二一条の規定に従つて登録する。

第十条

1 各締約国は、この条約の対象である事項に関する異常な事態が自国の至高の利益を危うくしてゐると認める場合には、その主権を行使してこの条約から脱退する権利を有する。当該締約国は、他のすべての締約国及び国際連合安全保障理事会に対し三箇月前にその脱退を通知する。その通知には、自國の至高の利益を危うくしてゐると認める異常な事態についても記載しなければならない。

2 この条約の効力発生の二十五年後に、条約が無期限に効力を有するか追加の一定期間延長されるかを決定するため、會議を開催する。その決定は、締約国過半数による議決で行

3. This Treaty shall enter into force after its ratification by the States, the acceding States, of which are designated Depositories of the Treaty, and forty other States, signatory to the Treaty, and the deposit of their instruments of ratification. For the purpose of this Treaty, a nuclear-weapon State is one which has manufactured and exploded a nuclear weapon or other nuclear explosive device prior to 1 January, 1967.

4. For States, whose instruments of ratification or accession are deposited subsequent to the entry into force of this Treaty, it shall enter into force on the date of the deposit of their instruments of ratification or accession. For the purpose of this Treaty, a nuclear-weapon State is one which has manufactured and exploded a nuclear weapon or other nuclear explosive device prior to 1 January, 1967.

5. The Depositary Governments shall promptly inform all signatory and acceding States of the date of each signature, the date of deposit of each instrument of ratification or of accession, the date of the entry into force of this Treaty, and the date of receipt of any requests for convening a conference or other notices.

6. This Treaty shall be registered by the Depositary Governments pursuant to Article 102 of the Charter of the United Nations.

Article X

1. Each Party shall in exercising its national sovereignty have the right to withdraw from the Treaty if it decides that extraordinary events, related to the subject matter of this Treaty, have jeopardized the supreme interests of its country. It shall give notice of such withdrawal to all other Parties to the Treaty and to the United Nations Security Council three months in advance. Such notice shall include a statement of the extraordinary events it regards as having jeopardized its supreme interests.

2. Twenty-five years after the entry into force of the Treaty, a conference shall be convened to decide whether the Treaty shall continue in force indefinitely, or shall be extended for an additional fixed period or periods. This decision shall be taken by a majority of the Parties to the Treaty.

う。

第十一條

正文及び
寄託

この条約は、英語、ロシア語、フランス語、スペイン語及び中国語をひとしく正文とし、寄託国政府に寄託される。この条約の認証謄本は、寄託国政府が署名国政府及び加入国政府に送付する。

末文

以上の証拠として、下名は、正当に委任を受けたるの条約に署名した。

千九百六十八年七月一日にロンドン市、モスクワ市及びワシントン市で本書三通を作成した。

Article XI

This Treaty, in the English, Russian, French, Spanish and Chinese texts of which are equally authentic, shall be deposited in the archives of the Depository Governments. duly certified copies of this Treaty shall be transmitted by the Depository Governments to the Governments of the signatory and acceding States.

In witness whereof the undersigned, duly authorized, have signed this Treaty.

Done in triplicate, at the cities of London, Moscow and Washington, the first day of July, one thousand nine hundred and sixty-eight.

ДОГОВОР о нераспространении ядерного оружия

Государства, заключившие настоящий Договор, имеющие
участники ядерного оружия,

Учитывая отсутствиеные последствия, которые имела бы для
всего человечества мирная война, и выражаясь об этом неодо-
мимости пропаганды все усилий для предотвращения опасности воз-
никновения такой войны и принять меры для обеспечения ее затяже-
лости на возможно долгий срок,

Считая, что распространение ядерного оружия嚴重に脅威する
личに危険である。

В соответствии с рекомендацией Генеральной Ассамблеи Органи-
зации Объединенных Наций, приведенной к исполнению соглашения
о прекращении более широкого распространения ядерного оружия,

под Пензенского Агентства по ядерной энергии в отношении
мижиной ядерной деятельности,

Выражая свою поддержку установления по всему миру
стабильных и прочих условий, направленных на содействие приме-
нения в рамках систем гарантированного международного Агентства по ядер-
ной энергии принципа добровольной гарантии в отношении движений
хозяйственных и специальных расстояниях материалов, подлежащих
исполнению приборов и других технических способов в интересах
наук и промышленности,

Понимая то принцип, что более широкое применение ядер-
ной технологии, особенно радиоактивного изотопа, подобно продуктам,
которые могут быть получены государствами, обладающими ядерным
оружием, обладает опасностью, должна быть до-
ступна для мирных целей всем государствам-участникам Договора,

Как обозначено, так и не отменяя ядерных оружий,

Будучи убежденными, что в осуществление этого принципа все
участники настоящего Договора имеют право участвовать в мирских
сферах помимо опасного ядерного изотопа для дальнейшего разви-
тия мирной ядерной энергии в мирных целях и вооружения в это разви-
тие способами, по аналогии с ядерными оружиеми, а также
государствами,

Завидим о способе наименее опасного ядерного оружия, и принять эффективные меры
предотвращения гонки ядерных вооружений и принять эффективные меры

предотвращения ядерного разоружения,

Настоятельно призывают к сотрудничеству всех государств в
постичении этих целей,

Наименование Равнинской, выраженных участниками Договора о
запрещении ядерного оружия в атомной, ядерной, ядерно-ядерной
промышленности и под контролем ЮНЕСКО, в его правобуждении, стремится
затруднить наименование ядерного оружия в атомной энергии и
оружий и промышленных ядерных ядерного

оружий и промышленных ядерного оружия,

Стремясь содействовать спасению международной напряжен-
ности и укреплению доверия между государствами, с тем чтобы со-

собствовать достоверному прекращению использования ядерного оружия,
уничтожению всех существующих его ядерного и исключению ядерного
оружия и средств его доставки из национальных арсеналов в союз
и в соответствии с договором о ядерном разоружении под строгим
и эффективным международным контролем,

Напоминаем, что в соответствии с Уставом Организации Объеди-
ненных Наций государства должны поддерживать в их международ-
ных отношениях от угрозы войны или ее применения как против тер-
риториальной неприкосновенности или политической независимости
 любого государства, так и какими-либо другими способами, несомненно-
ими с целью Объединенных Наций, и что следует содействовать
установлению и подтверждению международного мира и безопасности с
нанесением отвергаемых широких пасхальных сил и ядерических ресур-
сов для полного миротворения.

Согласились о вышеизложенном:

Статья I

Каждое из государств-участников настоящего Договора, обза-
данное ядерным оружием, обязуется не производить тому же то на
бело ядерное оружие или другие ядерные материалы, а
также контролировать такие оружия или ядерные материалы, на-
прично, ни косвенно; равно как никакими образом не помочь, не
подстрекать, ни пособничать какому-либо государству, не обогащать
ядерное оружие, к производству или к превращению ядерного
оружия, и не пособничать ему в производстве ядерного оружия
ниими способами ядерного оружия или ядерных ядерных
устройств, а также контролировать такие оружия или ядерные
устройствами.

Статья II

Каждое из государств-участников настоящего Договора, не
обладающее ядерным оружием, обязуется не принимать передачи от
кого бы то ни было ядерного оружия или ядерных ядерных
устройств, а также контролировать такие оружия или ядерные
устройства, и не производить ими ядерного оружия и не производить
также какими-либо ядерными способами ядерного оружия или ядерные
устройства, равно как и не подстрекать и не приводить
каждого рода помех в производстве ядерного оружия или ядерных
ядерных ядерных устройств.

Статья III

I. Каждое из государств-участников Договора, не обладающих
ядерным оружием, обязуется принять гарантии, как они являются в
соглашении, о котором будет принят впереди и которое будет
заключено с международным агентством по атомной энергии в соот-
ветствии с условиями Пензенского Агентства по ядерной энергии
и системой гарантированного Агентства, исключительно с целью проверки
запасов ядерного оружия, принятых в соответствии с настоящим
запасами, что обнаружены, принять в соответствии с настоящим
Договором, с тем чтобы не допускать первоначального ядерной эксп-
луатации с ядерного применения на ядерное оружие или ядерные ядерные
ядерные ядерные устройства. Принять гарантии, предложенных настоящей

согласий, осуществляется с отменой исходного или специального распределения материала, неизвестно от того, производится ли он, образовывается или используется в любой форме, кроме: установки или модификации, применении любой тактической ракеты, применения настороженной ставки, применение ко всему исходному или специальному распределению материала во всей широкой территории, признанной таким государством, пока его юрисдикцией или осуществляющей по его контролю где бы то ни было.

2. Какое из государств-участников Договора признается не прелестливым: а) исходного или специального распределения материала или б) оборудования или материалов, специально предназначенному или подготовленному для оружия, исключением или производство специального распределения материала, потому что существует, не обладающим материем оружием, для мирных целей, если на этот же самый или специальный распределенный материал не распространяется гарантии, требуемые настоящей статьей.

3. Гарантии, требуется соответствия статье II настоящего договора и излагать, создание препятствий для экономического или технологического развития участников Договора или международного сотрудничества в области широкой ядерной деятельности, включая международный обмен ядерными материалов и оборудованием для работы, использования или производства ядерного материала в мирных целях, в соответствии с положениями настоящей статьи и принципами, изложенным в предыдущем параграфе настоящих соглашений.

4. Государства-участники Договора, не обладающие ядерным оружием, заключают соглашения с международными агентствами по любому вопросу, связанным с целью выполнения требований настоящей статьи по другим государствам в соответствии с Уставом Международного Агентства по ядерной энергии. Переговоры о таких соглашениях начинаться в течение 180 дней со времени первоначального вступления в силу настоящего Договора. Для государств, способных на хранение ядерного оружия или применение его в боевых действиях, соглашения по исполнению первого в 180 дней, переговоры о таких соглашениях начинаться не позже 60 дней спустя. Такие соглашениям могут быть в силу не подлежать восемнадцати месяцев со дня начала переговоров.

Статья IX

1. Некоторое положение настоящего Договора не следует толковать как затрагивающее нестратегическое право всех участников договора разместить, производство и использование ядерной энергии в мирных целях без лицензирования и в соответствии со статьями I и II настоящего Договора.

2. Все участники договора обязуются способствовать возможному полному отказу от размещения, материалов, ядерной и технической информации об использовании ядерной энергии в мирных целях и имеет право участвовать в таком отказе. Участники договора, которые в состоянии делать это, также соглашаются в деле споров, которые в соответствии с настоящим Договором, по отдельности или совместно с другими государствами

или международными организациями, подлежащими применению первой энергии в мирных целях, особенно на территории государств-участников Договора, не опровергать эти права, с поминутным учетом норм радиационных районов мира.

Статья X

Некоторые положения настоящего Договора облегчают в духе нейтральности переговоры о различных вопросах по прекращению ядерных конфликтов и спасательных будущих и текущему разоружению, а также о договоре о небомбардировке и попытке разрушения под строительством ядерного оружия, который может также получать такие битвы в соответствии с соглашениями.

Статья XI

Некоторые положения настоящего Договора не затрагивают право каждого государства осуществлять ликвидацию ядерных оружий с целью обеспечения полного отсутствия ядерного оружия на их территории.

Статья XII

1. Любой Участник настоящего Договора может приложить практику к этому Договору. Такой любой предоставленный практикой практик может практик-депонировать, которые расширяют его роли участников Договора. Затем, если этого потребует она, Третьи лица Участники Договора, правительства-депонаторы совершают конференции, на которых они приглашают всех участников Договора для рассмотрения таких поправок.

2. После поправки к настоящему Договору должна быть утвер-

жена Совместным Голосом всех участников Договора, включенного в него государства-участники настоящего Договора, обладают полномочиями оружия, и всех других участников настоящего Договора, имеющих членство Совета управляемых международного агентства по ядерной энергии на момент рассыпки такой гранаты. Повторяется жесткость в силу для каждого участника Договора, сдавшего свою гранату в силу для каждого участника Договора, сдавшего свою гранату в результате подрыва, после сдачи за хранение таких ракетоносцев. Гражданский персонал Участников Договора, включая рапортационные гранаты всех государств-участников настоящего Договора, сдававших ядерные оружия, и всех других участников Договора, являющихся членами Совета управляемых международного агентства по ядерной энергии на момент рассыпки такой гранаты. Повторяется жесткость в силу для каждого участника Договора, сдавшего свою гранату в результате подрыва, после сдачи за хранение своей гранаты о рапортации подрыва.

3. Члены Государств по послесловию в силу настоящего Договора в Женеве (Швейцарии) совершили конференцию Участников Договора, для рассмотрения того, как действовать настоящий Договор, если он разрывается из-за действий нарушителя. Внеблоки должны оставить в силу для каждого участника Договора после сдачи им на хранение своей гранаты о рапортации подрыва.

Статья II

1. Настоящий Договор откроет для подписания его всеми государствами. Любой государственный, который не подпишет Договор до рассуждения его в силу в соответствии с пунктом 3 данной статьи, может присоединиться к нему в любой время.

2. Настоящий Договор подлежит ратификации государствами, подписавшими его. Рапортационные гранаты и документы о приеме-данных сдаются на хранение правительству Соединенного Королевства Великобритании и Северной Ирландии, Соединенных Штатов Америки и Союза Советских Социалистических Республик, которые частотами назначаются в качестве правительства-депонаторов.

3. Настоящий Договор вступает в силу после его ратификации государствами, правительства которых назначены в качестве депонаторов Договора, и до получения подтверждения настоящим Договором от каждого из этих рапортационных гранат. Для целей настоящего Договора, сдававших ядерное оружие, является государство, которое произведено и взорвано пандусом оружия или другого ядерного устройства до 1 января 1967 года.

4. Для государства, рапортационные гранаты или документы о приеме-данных которого будут сданы на хранение после вступления в силу настоящего Договора, он вступает в силу в день сдачи их рапортационных гранат или документов о приеме-данных. Правительства, рапортационные гранаты или документы о приеме-данных которых переданы в соответствии с пунктом 3 настоящего Договора, он вступает в силу в день сдачи на хранение их рапортационных гранат или документов о приеме-данных.

5. Президент США-Депонатор обязан немедленно уведомлять все подписаные и присоединившиеся к настоящему Договору государства о дате каждого подписания, дате сдачи на хранение каждой рапортационной гранаты или документа о приеме-данных, даже если это произошло в присутствии, даже если получение любых требований о

изъятии гранаты или документа о приеме-данных, даже если изъятие в силу настоящего Договора, даже получение любых требований о

своими конфедерациями, а также о других учредителях.

6. Настоящий Договор должен быть зарегистрирован Президентом Соединенных Штатов в соответствии со статьей 102 Устава Организации Объединенных Наций.

Статья III

1. Каждый Участник настоящего Договора в горючие существенные части своего государственного суверенитета имеет право выйти из настоящего Договора, если он решит, что сознание с сохранением настоящего Договора исключительно обстоятельства поставляет под угрозу existence интересов его страны. О таком выходе он уведомляет за три месяца конференции или того, чтобы решить, должен ли Договор

Продолжаться в силе беспрекословно или действие Договора должно быть прекращено на дополнительный период или действие Договора прекратится по истечении трех месяцев.

2. Через двадцать пять лет после вступления Договора в силу создается конференция или того, чтобы решить, должен ли Договор

Продолжаться в силе беспрекословно или действие Договора должно быть прекращено на дополнительный период или действие Договора прекратится по истечении трех месяцев. Это решение принимается большинством Участников

Статья IV

Частоупоминаемый Договор, англиканский, французский и кипрский текст которого является равно действительным и имеющим значение в трех языках правительства-депонаторов, должен быть зарученными кончи настоящего Договора предпринятые действиями правительства-депонаторов правительства-депонаторов, политиков, гражданских и военных лиц, представителей правительства-депонаторов и присоединившихся к нему.

Государство, которое произведено и взорвано

Б. УДОСТОВЕРЕНИЕ ЧЕГО никакого изменившегося, положенным образом на то положение, подписаны настоящий Договор.

СОВЕРШЕНО в трех экземплярах, в городах Лондон, Вашингтон и Москва, между Москвой, первого дня, тысяча девятьсот шестьдесят восьмого года.

TRAITE SUR LA NON-PROLIFERATION DES ARMES NUCLEAIRES

Les Etats qui concluent le présent Traité, ci-après dénommés les "Parties au Traité":

Considérant les dévastations, qu'une guerre nucléaire ferait subir à l'humanité entière et la nécessité qui en résulte de ne ménager aucun effort pour écourter le risque d'une telle guerre et de prendre des mesures en vue de sauvegarder la sécurité des peuples.

Persuadés que la prolifération des armes nucléaires augmenterait considérablement le risque de guerre nucléaire.

En conformité avec les résolutions de l'Assemblée générale de l'Organisation des Nations Unies demandant la conclusion d'un accord sur la prévention d'une plus grande dissémination des armes nucléaires.

S'engagent à coopérer en vue de faciliter l'application des garanties de l'Agence internationale de l'énergie atomique aux activités nucléaires pacifiques,

Exprimant leur appui aux efforts de recherche, de mise au point et autres visant à favoriser l'application, dans le cadre du système de garanties de l'Agence internationale de l'énergie atomique, du principe d'une garantie efficace d'armes de matières brutes et de produits fissiles spéciaux grâce à l'emploi d'instruments et autres moyens techniques en certains points stratégiques.

Altenant le principe selon lequel les avançages des applications pacifiques de la technologie nucléaire, y compris tous sous-produits technologiques qui les Etats doits d'armes nucléaires pourraient obtenir par la mise en point de dispositifs nucléaires explosifs, devraient être accessibles, à des fins pacifiques, à toutes les Parties au Traité, qu'il s'agisse d'Etats doits ou non doits d'armes nucléaires.

Convaincus qu'en application de ce principe, toutes les Parties au Traité ont le droit de participer à un échange aussi large que possible de renseignements scientifiques en vue du développement plus poussé des utilisations de l'énergie atomique à des fins pacifiques, et de contribuer à ce développement à titre individuel ou en coopération avec d'autres Etats, déclarant leur intention de parvenir au plus tôt à la cessation de la course aux armements nucléaires et de prendre des mesures efficaces dans la voie du désarmement nucléaire.

Demandant instamment la coopération de tous les Etats en vue d'atteindre cet objectif,

Rappelant que les Parties au Traité de 1963 interdisant les essais d'armes nucléaires dans l'atmosphère, dans l'espace extra-atmosphérique et sous l'eau, ont, dans l'Entente du 1^{er} Juin, exprimé leur détermination de chercher à assurer l'arrêt de toutes les explosions expérimentales d'armes nucléaires à tout jamais et de poursuivre les négociations à cette fin.

Désireux de promouvoir la défense internationale et le renforcement de la confiance entre les Etats afin de faciliter la cessation de la fabrication d'armes nucléaires la limitation de tous les stock-circuits d'armes, et l'interdiction des armes nucléaires et de leurs vecteurs des armées nationaux en vertu d'un traité sur le désarmement général et complet sous un contrôle international strict et efficace.

Rappelant que, conformément à la Charte des Nations Unies, les Etats doivent s'abstenir, dans leurs relations internationales, de recourir à la

menace ou à l'emploi de la force, soit contre l'intégrité territoriale ou l'indépendance politique de tout Etat, soit de toute autre manière incompatible avec les buts des Nations Unies, et qu'il faut favoriser l'établissement et le maintien de la paix et de la sécurité internationales en ne débordant vers les armements que le minimum des ressources humaines et économiques du monde;

Sont convenus de ce qui suit:

ARTICLE PREMIER

Tout Etat non doué d'armes nucléaires qui est Partie au Traité s'engage à ne pas céder à qui que ce soit, ni directement ni indirectement, le transfert de technologies qui soit ou non utilisable pour la fabrication de telles armes ou de tels dispositifs explosifs, ou le contrôle de telles d'aucune façon un Etat non doué d'armes nucléaires, quel qu'il soit, à fabriquer ou accueillir ou quelque autre manière des armes nucléaires ou autres dispositifs nucléaires, explosifs, ou le contrôle de telles armes ou de tels dispositifs explosifs.

ARTICLE II

Tout Etat non doué d'armes nucléaires qui est Partie au Traité s'engage à accepter les garanties stipulées dans un accord qui sera négocié et conclu avec l'agence internationale de l'énergie atomique, conformément au Statut de l'Agence internationale de l'énergie atomique et au système de garanties de ladite Agence, à cette fin de vérifier l'exécution des obligations assumées par ledit Etat aux termes du présent Traité en vue d'empêcher que l'énergie nucléaire ne soit détournée de ses utilisations pacifiques vers des armes nucléaires ou d'autres dispositifs explosifs nucléaires. Les modalités d'application des garanties requises par le présent article porteront sur les matières brutes et les produits fissiles spéciaux, que ces matières ou produits soient produits, traités ou utilisés dans une installation nucléaire principale ou se trouvent en dehors d'une telle installation. Les garanties requises par le présent article s'appliqueront à toutes matières brutes ou tous produits fissiles spéciaux dans toutes les activités nucléaires pacifiques exercées sur le territoire d'un tel Etat, sous sa juridiction, ou entreprisées sous son contrôle en quelque lieu que ce soit.

ARTICLE III

1. Tout Etat non doué d'armes nucléaires qui est Partie au Traité s'engage à accepter les garanties stipulées dans un accord qui sera négocié et conclu avec l'agence internationale de l'énergie atomique, conformément au Statut de l'Agence internationale de l'énergie atomique et au système de garanties de ladite Agence, à cette fin de vérifier l'exécution des obligations assumées par ledit Etat aux termes du présent Traité en vue d'empêcher que l'énergie nucléaire ne soit détournée de ses utilisations pacifiques vers des armes nucléaires ou d'autres dispositifs explosifs nucléaires. Les modalités d'application des garanties requises par le présent article porteront sur les matières brutes et les produits fissiles spéciaux, que ces matières ou produits soient produits, traités ou utilisés dans une installation nucléaire principale ou se trouvent en dehors d'une telle installation. Les garanties requises par le présent article s'appliqueront à toutes matières brutes ou tous produits fissiles spéciaux dans toutes les activités nucléaires pacifiques exercées sur le territoire d'un tel Etat, sous sa juridiction, ou entreprisées sous son contrôle en quelque lieu que ce soit.

2. Tout Etat Partie au Traité s'engage à ne pas fournir: a) de matières brutes ou de produits fissiles spéciaux, ou b) d'équipements ou de matières spécialement conçus ou préparés pour le traitement, l'utilisation ou la production de produits fissiles spéciaux, à un Etat non doué d'armes nucléaires, quel qu'il soit, à moins que ces matières brutes ou tels produits fissiles spéciaux ne soient soumis aux garanties requises par le présent article.

3. Les garanties requises par le présent article seront mises en œuvre de manière à satisfaire aux dispositions de l'article IV du présent Traité et à éviter d'influencer le développement économique ou technologique des Parties au Traité ou la coopération internationale dans le domaine

activities nucléaires pacifiques, notamment les échanges internationaux de matières et équipements nucléaires pour le tritium. N'utilisation ou la production de matières nucléaires à des fins pacifiques, conformément aux dispositions du présent article et au principe de garantie énoncé au Piérame de présent Traité.

4. Les Etats non-désarmés nucléaires qui sont Parties au Traité contribueront des accords avec l'Agence internationale de l'énergie atomique pour assurer une exécution du présent article, soit à titre individuel, soit conjointement avec d'autres Etats conformément au Statut de l'Agence internationale de l'énergie atomique. La négociation de ces accords commencera dans les 180 jours qui suivront l'entrée en vigueur initiale du présent Traité. Pour les Etats qui déposeront leur instrument de ratification ou d'adhésion après ladite période de 180 jours, la négociation de ces accords commencera au plus tard à la date de dépôt dudit instrument de ratification ou d'adhésion. Lesdits accords devront entrer en vigueur au plus tard 18 mois après la date du commencement des négociations.

Article IV

1. Aucune disposition du présent Traité ne sera interprétée comme portant atteinte au droit inaliénable de toutes les Parties au Traité de développer la recherche, la production et l'utilisation de l'énergie nucléaire à des fins pacifiques, sans discrimination et conformément aux dispositions des articles premier et II du présent Traité.

2. Toutes les Parties au Traité s'engagent à faciliter un échange aussi large que possible d'équipement, de matières et de renseignements scientifiques et technologiques en vue des utilisations de l'énergie nucléaire à des fins pacifiques, et ont le droit d'y participer. Les Parties au Traité envoient de le faire directement ou en contribuant à titre individuel ou conjointement avec d'autres Etats ou des organisations internationales, au développement plus poussé des applications de l'énergie nucléaire à des fins pacifiques, en particulier sur les territoires des Etats non-désarmés nucléaires qui sont Parties au Traité, compte tenu des besoins des régions du monde qui sont en voie de développement.

Article V

Chaque Partie au Traité s'engage à prendre des mesures appropriées pour assurer que, conformément au présent Traité, sous une surveillance internationale appropriée et sur la voie de procédures internationales appropriées, le matériel nucléaire destiné à des applications pacifiques, quels qu'ils soient, des expéditions nucléaires sont effectuées sur une base non discriminatoire, non-discriminatoire, mais dans les conditions qui sont aussi réalistes que possible et ne compore pas de risques pour la sécurité et la mise au point. Les Etats non-désarmés nucléaires qui sont Parties au Traité, et que le droit pour ces Parties des dispositions expresses du Traité, et que le droit pour ces Parties de faire de tout pour la sécurité soit aussi réalistes que possible et ne compore pas de risques pour la sécurité et la mise au point. Les Etats non-désarmés nucléaires qui sont Parties au Traité seront en mesure d'obtenir des avantages de cette nature, conformément à un accord international spécial ou à des accords internationaux spéciaux, par l'entremise d'un organisme international approprié ou les Etats non-désarmés nucléaires seront représentés de manière adéquate. Des négociations à ce sujet commenceront le plus tôt possible après l'entrée en vigueur du Traité. Les Etats non-désarmés nucléaires qui sont Parties au Traité pourront ainsi, dès lors qu'ils le souhaitent, obtenir ces avantages en vertu des accords binatéraux.

Article VI

Chacune des Parties au Traité s'engage à poursuivre de bonne foi des

négociations sur des mesures efficaces relatives à la cessation de la course aux armements nucléaires à une date rapprochée et au désarmement nucléaire, et sur un traité de désarmement général et complet sous un contrôle international strict et efficace.

Article VII

Aucune clause du présent Traité ne porte atteinte au droit d'un groupe quelconque d'Etats de conduire des traînées régionales de façon à assurer l'uberté totale d'armes nucléaires sur leurs territoires respectifs.

Article VIII

1. Toute Partie au Traité peut proposer des amendements au présent Traité. Le texte de tout amendement proposé sera soumis aux gouvernements dépositaires qui la communiqueront à toutes les Parties au Traité. Si un tiers des Parties au Traité ou davantage en fon, alors la demande, les gouvernements dépositaires convoqueront une conférence à laquelle ils inviteront toutes les Parties au Traité pour étudier cet amendement.

2. Tout amendement au présent Traité devra être approuvé - la majorité des voix de toutes les Parties au Traité, y compris les voix de tous les Etats non-désarmés nucléaires qui sont Parties au Traité et de toutes les autres Parties qui, à la date de la communication de l'amendement, sont membres du Conseil des Gouverneurs de l'Agence internationale de l'énergie atomique. L'amendement entrera en vigueur à l'égard de toute Partie qui déposera son instrument de ratification dudit amendement, dès le dépôt de tel instrument de ratification par la majorité des Parties, y compris les instruments de ratification de toutes les Etats non-désarmés nucléaires qui sont Parties au Traité et de toutes les autres Parties qui, à la date de la communication de l'amendement, sont membres du Conseil des Gouverneurs de l'Agence internationale de l'énergie atomique. Par la suite, l'amendement entrera en vigueur à l'égard de toute autre Partie dès le dépôt de son instrument de ratification de l'amendement.

3. Cinq ans après l'entrée en vigueur du présent Traité, une conférence des Parties au Traité aura lieu à Genève (Suisse), afin d'examiner le fonctionnement du présent Traité en vue de s'assurer que les objectifs du Piérame et les dispositions du Traité sont en voie de réalisation. Par la suite, en intervalles de cinq ans, une majorité des Parties au Traité pourra obtenir, en soumettant une proposition à cet effet aux gouvernements dépositaires, la convocation d'autres conférences ayant le même objet, à savoir examiner le fonctionnement du Traité.

Article IX

1. Le présent Traité est ouvert à la signature de tous les Etats. Il est fait sauf à l'autorisation du présent article pourra y adhérer à tout moment.

2. Le présent Traité sera soumis à la ratification des Etats signataires. Les instruments de ratification et les instruments d'adhésion seront déposés conformément au paragraphe 3 du présent article pourra y adhérer à tout moment.

3. Le présent Traité entrera en vigueur après qu'il aura été ratifié par les Etats dont les gouvernements sont désignés comme dépositaires du Traité, et par quinze autres Etats signataires du présent Traité, et après le dépôt de leurs instruments de ratification. Aux fins du présent Traité, un Etat dont d'armes nucléaires est un Etat qui a fabriqué et a fait exploser

une arme nucléaire ou un autre dispositif nucléaire explosif avant le 1er janvier 1967.

4. Pour les Etats dont les instruments de ratification ou d'adhésion seront déposés après l'entrée en vigueur du présent Traité, celui-ci entrera en vigueur à la date du dépôt de leurs instruments de ratification ou d'adhésion.

5. Les gouvernements déposantes informeront sans délai tous les Etats qui auront signé le présent Traité ou y auront adhéré de la date de chaque dépôt, de la date d'entrée en vigueur du présent Traité et de l'adhésion ou d'adhésion, de la date d'entrée en vigueur du présent Traité et de l'adhésion de toute autre communication.

6. Le présent Traité sera enregistré par les gouvernements déposantes conformément à l'article 102 de la Charte des Nations Unies.

Article X

1. Chaque Partie dans l'exercice de sa souveraineté nationale, aura le droit de se résigner du Traité si elle décide que des événements extraordinaires, en rapport avec l'objectif du présent Traité, ont compromis les intérêts supérieurs de son pays. Elle devra nommer ce retrait à toutes les autres Parties au Traité ainsi qu'au Conseil de sécurité de l'Organisation des Nations Unies avec un préavis de trois mois. L'adieu notification devra contenir un exposé des événements extraordinaires que l'Etat en question considère comme ayant compromis ses intérêts supérieurs.

2. Vingt-cinq ans après l'entrée en vigueur du Traité, une conférence sera convoquée en vue de décider si le Traité demeurera en vigueur pour une durée indéfinie, ou sera prolongé pour une ou plusieurs périodes supplémentaires d'une durée déterminée. Cette décision sera prise à la majorité des Parties au Traité.

Article XI

Le présent Traité, dont les textes anglais, russe, espagnol, français et chinois font également foi, sera déposé dans les archives des gouvernements dépositaires. Des copies dûment certifiées conformes du présent Traité seront adressées par les gouvernements déposataires aux Etats qui auront signé le Traité ou qui y auront adhéré.

En foi de quoi les soussignés, dûment habilités à cet effet, ont signé le présent Traité.

Fait en trois exemplaires à Londres, Moscou et Washington, le premier juillet mil neuf cent soixante-huit.

SOBRE LA NO PROLIFERACION DE LAS ARMAS NUCLEARES

TRATADO

"Partes en el Tratado"

Considerando las devastaciones que una guerra nuclear infaría a la humanidad entera y la urgente necesidad de hacer todo lo posible por evitar el peligro de encendiente guerra y de adoptar medidas para salvaguardar la seguridad de los pueblos,

Examinando que la proliferación de las armas nucleares agravaría considerablemente el peligro de guerra nuclear,

De conformidad con las resoluciones de la Asamblea General de las Naciones Unidas que piden que se considere un acuerdo sobre la preventión de una mayor difusión de las armas nucleares,

Comprometiéndose a cooperar para facilitar la aplicación de las salvaguardias del Organismo Internacional de Energía Atómica a las actividades nucleares de carácter pacífico,

Expresando su apoyo a las esfuerzos de investigación y desarrollo y demás esfuerzos por promover la aplicación, dentro del marco del Sistema, y de acuerdo con las directrices del Organismo Internacional de Energía Atómica del principio de la salvaguardia clásica de la contenido de materiales básicos y de materiales fisibles, especiales mediante el empleo de instrumentos y otros medios técnicos en ciertos puntos estratégicos,

Afirmando el principio de que los beneficios de las aplicaciones pacíficas de la tecnología nuclear deben ser equitativamente difundidos, de modo que los Estados poseedores de armas nucleares puedan obtener del desarrollo de los mismos, incluyendo sus aplicaciones pacíficas, a todos los Estados, sean éstos Partes en el Tratado, sean éstas Partes Estados o no, procedentes de armas nucleares.

Convencidos de que, en aplicación de ese principio, todas las Partes en el Tratado tienen derecho a participar en el más amplio intercambio posible de información científica para el mayor desarrollo de las aplicaciones de la energía atómica con fines pacíficos y a contribuir a dicho desarrollo por si solas o en colaboración con otros Estados,

Declarando su intención de lograr lo antes posible la cesación de la carrera de armamentos nucleares y de emprender medidas eficaces encaminadas a desarmar nuclear,

Prefiero encarecidamente la cooperación de todos los Estados para el logro de ese objetivo.

Desearía promover la disminución de la tensión internacional y el rebuscamiento de la confianza entre los Estados con objeto de facilitar los ensayos con armas nucleares en la atmósfera, la liquidación de todas las reservas existentes de tales armas y la eliminación de las armas nucleares y de sus vectores en los arsenales nacionales en virtud de un tratado de desarme general, completo, bajo estricto y efectivo control internacional.

Recordando que, de conformidad con la Carta de las Naciones Unidas, los Estados deben abstenerse en sus relaciones internacionales de recurrir a la amenaza o al uso de la fuerza contra la integridad territorial o la independencia política de cualquier Estado, o en cualquier otra forma incompatible con los Propósitos de las Naciones Unidas, y que han de promovese el establecimiento y mantenimiento de la paz y la seguridad

internacionales con la menor devoción posible de los recursos humanos y económicos del mundo hacia los armamentos.

Han convenido en lo siguiente:

Artículo I

Cada Estado poseedor de armas nucleares que sea Parte en el Tratado se compromete a no trasladar a nadie armas nucleares u otros dispositivos explosivos ni el control sobre tales armas o dispositivos explosivos, sea directo o indirectamente; a no ayudar, asistir o inducir en forma alguna a ningún Estado no poseedor de armas nucleares a fabricar o adquirir de otra manera armas nucleares u otros dispositivos nucleares explosivos, ni el control sobre tales armas o dispositivos explosivos.

Artículo II

Cada Estado no poseedor de armas nucleares que sea Parte en el Tratado se compromete a no recibir de nadie ningún traslado de armas nucleares u otros dispositivos nucleares explosivos, ni el control sobre tales armas o dispositivos explosivos, sea directo o indirectamente; a no fabricar ni adquirir de otra manera armas nucleares u otros dispositivos nucleares explosivos, y a no recalar ni recibir ayuda alguna para la fabricación de armas nucleares u otros dispositivos nucleares explosivos.

Artículo III

1. Cada Estado no poseedor de armas nucleares que sea Parte en el Tratado se compromete a aceptar las salvaguardias estipuladas en un acuerdo que ha de negarse y concernirse con el Organismo Internacional de Energía Atómica, de conformidad con el Estatuto del Organismo Internacional de Energía Atómica y con el sistema de salvaguardias del Organismo, a efectos únicamente de verificar el cumplimiento de las obligaciones asumidas por ese Estado en virtud de este Tratado con miras a impedir que la energía nuclear se derive de usos pacíficos hacia armas nucleares u otros dispositivos nucleares explosivos. Los procedimientos de salvaguardia exigidos por el presente artículo se aplicarán a los materiales básicos y los materiales fisibles especiales, tanto si se producen tránsito o utilizan en cualquier plantilla nuclear principal como si se encuentran fuera de esa planta. Instalación de ese tipo. Las salvaguardias exigidas por el presente artículo se aplicarán a todos los materiales básicos y materiales fisibles, especiales, en todas las actividades nucleares con fines pacíficos realizadas en el territorio de dicho Estado, bajo su jurisdicción, o efectuadas bajo su control en cualquier lugar.

2. Cada Estado Parte en el Tratado se compromete a no proporcionar: a) materiales básicos, o materiales fisibles especiales, ni el equipo o materiales, especialmente concebidos o preparados para el tratamiento, utilización o producción de materiales fisibles especiales, a ningún Estado no poseedor de armas nucleares, para fines pacíficos, a menos que esos materiales básicos o materiales fisibles especiales sean sometidos a las salvaguardias exigidas por el presente artículo.

3. Las salvaguardias exigidas por el presente artículo se aplicarán de modo que se cumplan las disposiciones del artículo IV de este Tratado y que no obstaculicen el desarrollo económico o tecnológico de las Partes o la cooperación internacional en la esfera de las actividades nucleares, con fines pacíficos, incluido el intercambio internacional de materiales y equipo nucleares para el tratamiento, utilización o producción de materiales nucleares con fines pacíficos de conformidad con las disposiciones del presente artículo y con el principio de la salvaguardia enunciado en el Preambulo de Tratado.

4. Los Estados no poseedores de armas nucleares que sean Partes en el Tratado, individualmente o juntos con otros Estados, de conformidad con el

Tratado del Organismo Internacional de Energía Atómica, concertarán acuerdos con el Organismo Internacional de Energía Atómica a fin de satisfacer las exigencias del presente artículo. La negociación de esos acuerdos comenzará dentro de los diez octavos días siguientes a la entrada en vigor del Tratado.

Instrumentos de ratificación o de adhesión después de esa plazo de diez octavos días la negociación de esos acuerdos comenzará más tarde en la fecha de dicho dispositivo. Tales acuerdos deberán entrar en vigor, a más tardar, en el término de dieciocho meses a contar de la fecha de iniciación de las negociaciones.

Artículo IV

1. Nada de lo dispuesto en este Tratado se interpretará en el sentido de afectar el derecho inalienable de todas las Partes en el Tratado de desarrollar la investigación, la producción y la utilización de la energía nuclear con fines pacíficos sin discriminación y de conformidad con los artículos I y II de este Tratado.

2. Todas las Partes en el Tratado se comprometen a facilitar el más amplio intercambio posible de equipos, materiales e información científica y tecnológica para los usos pacíficos de la energía nuclear y tienen el derecho de participar en ese intercambio. Las Partes en el Tratado que estén en la situación de hacerlo deberán asimismo cooperar para contribuir, al mayor o menor con otro Estado, u organizaciones internacionales, al mayor desarrollo de las aplicaciones de la energía nuclear con fines pacíficos, especialmente en los territorios de los Estados no poseedores de armas nucleares. Partes en el Tratado, teniendo debido en cuenta las necesidades de las regiones, en desarrollo del mundo.

Artículo V

Cada Parte en el Tratado se compromete a adoptar las medidas apropiadas para asegurar que, de conformidad con este Tratado, bajo observación internacional apropiada y por los procedimientos internacionales apropiados, las beneficencias potenciales de toda aplicación pacífica de las explosiones nucleares sean accesibles sobre bases no discriminatorias a los Estados no poseedores de armas nucleares. Partes en el Tratado que el costo para dichas Partes de los dispositivos explosivos que se empleen sea lo más bajo posible, no excluirá todo gasto por concepto de investigación y desarrollo. Los Estados no poseedores de armas nucleares. Partes en el Tratado deberán estar en posición de obtener tales beneficios en virtud de uno o más acuerdos internacionales especiales, por conducto de un organismo internacional apropiado o el que estén adecuadamente representados. Los Estados no poseedores de armas nucleares. Las negociaciones sobre esta cuestión deberán comenzar lo antes posible, una vez que el Tratado haya entrado en vigor. Los Estados no poseedores de armas nucleares Partes en el Tratado que así lo deseen podrán asimismo obtener tales beneficio en virtud de acuerdos bilaterales.

Artículo VI

Cada Parte en el Tratado se compromete a celebrar negociaciones de buena fe sobre medidas eficaces relativas a la cesación de la carrera de armamentos nucleares en fecha cercana y al desarme nuclear y sobre un tratado de desarme general y completo, bajo control y efectivo control internacional.

Artículo VII

Ninguna disposición de este Tratado menoscabará el derecho de cualquier

grupo de Estados a concertar tratados regionales a fin de asegurar la ausencia total de armas nucleares en sus respectivos territorios.

Artículo VIII

1. Cualquier otra de las Partes en el Tratado podrá proponer enmiendas al mismo. El texto de cualquier enmienda propuesta será comunicado a los Gobiernos depositantes que la transmitirán a todas las Partes en el Tratado. Seguidamente, si así lo solicitan las Partes en el Tratado, los Gobiernos depositantes convocarán a una conferencia, a la que invitarán a todos las Partes en el Tratado, para considerar la enmienda.

2. Toda enmienda a este Tratado deberá ser aprobada por una mayoría de los votos de todas las Partes en el Tratado, incluidos los votos de todos los Estados poseedores de armas nucleares. Partes en el Tratado, de las demás Partes que, en la fecha en que se comunique la enmienda, sean miembros de la Junta de Gobernadores del Organismo Internacional de Energía Atómica. La enmienda entrará en vigor para cada Parte que deposite su instrumento de ratificación de la enmienda al querer depositarlos tales instrumentos de ratificación de una mayoría de las Partes, incluidos los instrumentos de ratificación de todos los Estados poseedores de armas nucleares. Partes en el Tratado y de las demás Partes que en la fecha en que se comunique la enmienda, sean miembros de la Junta de Gobernadores del Organismo Internacional de Energía Atómica. Ulteriormente entrará en vigor para cualquier otra Parte al querer depositar su instrumento de ratificación de la enmienda.

3. Cinco años después de la entrada en vigor del presente Tratado se celebrará en Ginebra, Suiza, una conferencia de las Partes en el Tratado, a fin de examinar el funcionamiento de este Tratado para asegurarse que se están cumpliendo los fines del Preludio y las disposiciones del Tratado. En lo sucesivo, a intervalos de cinco años, una mayoría de las Partes en el Tratado podrá, mediante la presentación de una propuesta al respecto a los Gobiernos depositarios, conseguir que se convoquen otras conferencias con el mismo objeto de examinar el funcionamiento del Tratado.

Artículo IX

1. Este Tratado estará abierto a la firma de todos los Estados. El Estado que no firme este Tratado antes de su entrada en vigor, de conformidad con el párrafo 3 de este artículo, podrá adherirse a él en cualquier momento.

2. Este Tratado estará sujeto a ratificación por los Estados signatarios. Los instrumentos de ratificación y los instrumentos de adhesión serán entregados para su depósito a los Gobiernos del Reino Unido de Gran Bretaña e Irlanda del Norte, de los Estados Unidos de América y de la Unión de Repúblicas Socialistas Soviéticas, que por el presente se designan como Gobiernos depositantes.

3. Este Tratado entrará en vigor después de su ratificación por los Estados cuyos Gobiernos se designan como depositantes del Tratado y por otros cuarenta Estados signatarios del Tratado, y después del depósito de estos instrumentos de ratificación. A los efectos del presente Tratado, un Estado poseedor de armas nucleares es un Estado que ha fabricado y hecho explotar un arma nuclear o otro dispositivo nuclear explosivo antes del 1º de enero de 1967.

4. Para los Estados cuyos instrumentos de ratificación o de adhesión se depositaren después de la entrada en vigor de este Tratado, el Tratado

entrará en vigor en la fecha del depósito de sus instrumentos de ratificación o adhesión.

5. Los Gobiernos depositarios informarán sin tardanza a todos los Estados signatarios y a todos los Estados que se hayan adherido a este Tratado, de la fecha de cada firma, de la fecha de depósito de cada instrumento de ratificación o de adhesión de la fecha de su entrada en vigor y la fecha de recibo de toda solicitud de convocatoria a una conferencia o de cualquier otra notificación.

6. Este Tratado será registrado por los Gobiernos depositarios, de conformidad con el artículo 102 de la Carta de las Naciones Unidas.

ARTICULO X

1. Cada Parte tendrá derecho, en ejercicio de su soberanía nacional, a retirarse del Tratado si decide que acontecimientos extraordinarios, relacionados con la materia que es objeto de este Tratado, han comprometido los intereses supremos de su país. De esa retirada deberá notificarse a todas las demás Partes en el Tratado al Consejo de Seguridad de las Naciones Unidas con una antelación de tres meses. Tal notificación deberá incluir una exposición de los acontecimientos extraordinarios que esa Parte considere que han comprometido sus intereses supremos.

2. Veinticinco años después de la entrada en vigor del Tratado se convocará una Conferencia para decidir si el Tratado permanecerá en vigor indefinidamente o si se prorrogará por uno o más períodos suplementarios de duración determinada. Esta decisión será adoptada por la mayoría de las Partes en el Tratado.

ARTICULO XI

Este Tratado, cuyos textos en inglés, ruso, español, francés y chino son igualmente auténticos, se depositará en los archivos de los Gobiernos depositarios. Los Gobiernos depositarios remitirán copias debidamente certificadas de este Tratado a los Gobiernos de los Estados signatarios y de los Estados que se adhieren al Tratado.

En TESTIMONIO DE LO COAL, los infrascritos, debidamente autorizados, firman este Tratado.

Hizo en tres ejemplares, en las ciudades de Londres, Moscú y Washington, el día primero de julio de mil novecientos setenta y ocho.

防止核武器擴行條約

安全之建立及維持，
及謀定條款如下：

締結本條約之國家，以下簡稱“締約國”，
鑑於核戰爭及全體人類而告和平，以終止擴大核武器之威脅，
並為核武器之蔓延及後核禍而發起危險大喝。

茲為核武器之蔓延及後核禍而發起危險大喝，
為符合聯合國大會屢次要求締結防止核武器擴大數部協定
之各項決議案。

據此，通過合作，以利國際原子能總署和平核工作各項任務之
適用，

表示關於在若干重要地點，以機器及其他技術有效保存源料，
及特種製造資料之流通之原則，凡為促進在國際原子能總署得勝

制衡範圍內實行此原則而作之研究、發佈及其他努力，擬予支持，
確認一項原則，即核技術和平應用之惠益，包括核武器國家發
展核爆破器械而可能獲得之任何技術上副產品，在所應供全世界

和平使用，不問其為核武器國家和非核武器國家，
深信為推進此項原則，本條約全體締約國有權參加盡量並分
文接任與齊齊德申一步擴長原子能之和平使用並藉自或會同其

他國家，從此種使用之進一步擴展。

聲明欲盡早達成停止核武器擴大趨向於核裁軍
之有效措施，
促請所有國家通力合作，達到此項目標。

查一九六三年禁止在大氣層外空及水中試驗核武器條約締
約國在核爆破研究文表示決心謀求永遠停止一切核武器爆破試驗，
並為達到此目的繼續談判。

茲欲進一步緩和國際緊張局勢，因與國間之互信，以利依
據一項佔據有核國際管制下善編練之裁軍之行動停止製造核

武器，清除一切現有國防並廢除內國兵工廠之核武器及其技術工
具。

復盡快地聯合國各國在其國際關係上不得作武力之威
脅或使用武力侵害任何國家之領土完整或政治獨立，亦不得以任

何其他與聯合國宗旨相悖之方式作武力之威脅或使用武力，且須
儘量減少世界人民與經濟資源之消耗於軍備，以促進國際和平及

第二條

本條約各非核武器國應允接受依國際原子能總署規約及
接受核武器或其他核爆破器械或此種武器或爆破器械之技術之
製造或以其他方法取得核武器或其他核爆破器械亦不參
取或接受製造武器或其他核爆破器械之任何協助。

第三條

一、各非核武器國應允接受依國際原子能總署規約及
接受核武器或其他核爆破器械或此種武器或爆破器械之技術之
製造或以其他方法取得核武器或其他核爆破器械亦不參
取或接受製造武器或其他核爆破器械之任何協助。

二、各非核武器國應允不將（甲）源料或特種製造資料或
別為特種製造資料之處理、使用或生產而設計或預備或材
料供任何非核武器國家作和平用途，但該源料或特種製造資料，
受本條所定必需之行動支配者不在此限。

三、各非核武器國應允不將（甲）源料或特種製造資料或
別為特種製造資料之處理、使用或生產而設計或預備或材
料供任何非核武器國家作和平用途，但該源料或特種製造資料，

依總本條規定及本條的前文所載得防原則在國際上支擋核子彈及和手用遠射管子之處理使用或生產之設備在內。

四、本條約非核武器國的國會草稿或會同其他國家依照國際原能能總署理約與該總署締結協定以應本條所定之需求，商討此項協定應於本條約最初生效之日起一百八十日內開始，於一百八十日後又在批准或加入書之國家，至遲應於文存時開始商討此項協定。此項協定至遲應於開始商討之日起十八個月生效。

第四條

一、本條約不得解釋為影響本條約全體的國無制裁，並應將本條約第一條及第二條之規定為和平用途而促進核能之研究及發展使用之不可抗議之精神。

二、本條約全體的國無制裁並有權增加其充分之研究、開發技術和生產之設備材料及科學技術情報，只能參加此項交換之精神應合作無間隔的或會同其他國家或國際組織促成核能和平使用之進一步發展，並應在此核武器國的國會或兩院成此項發展並適當顧及世界各發展中國家之需要。

第五條

本條約並不影響任何國家集團為實行各該集團之區域的核武器而轉移區域外之權利。

第七條

第八條

一、本條約任何條約得對本條約提出修正案，任何修正案全文應送由各管國政府分發全體的國，嗣後保管國政府經三分一以上管國之簽名附註明會議選擇全體的國審議此項修正案。

二、通過本條約任何修正案必須有全體的國過半數之可決票，包括本條約所有核武器國及於分發修正案時為國際原能能總署理事會管轄範圍之所有其他條約國之可決票在內。修正案於過半數條約國之修正案批准書，包括本條約所有核武器國及於分發修正案時為國際原能能總署理事會管轄範圍之所有其他條約國之批准書在內，文件之草案已交存此項批准書之每一條約國發生效力，嗣後對其餘每一條約國於其文存修正案批准書之即刻發生效力。

三、本條約生效後五年，應於瑞士日内瓦召開總約國會議，檢討本條約之運用情形，以研擬前文定旨及條約程定均在會議中，嗣後每隔五年，經過半數條約國向各管國政府提出請求，得再召開會議，其日標則仍為檢討本條約之運用施行。

第九條

一、本條約應由各國簽署，凡在本條約依本條第三項於生效前尚未簽署本條約之國家得隨時加入本條約。

第六條

一、本條約應由各署本條約之國家得隨時加入本條約。

二、本條約應由各署本條約，批存書與加入書應交存蘇聯

指定為行使國政之大不列顛及北愛爾蘭聯合王國聯邦社會主義共和國聯盟及美利堅合衆國政府。

三、本條約應以英語文、西班牙文及中文各本同一作準一併

簽署於英國政府總理、行管國政府總理之國家及本條約其他各國於一九六七年一月一日在全體簽並擲掉核武器或其他核

爆炸器械之國家。

四、對於任何條約生效後交存批存書或加入書之國家，本條

約應於其交存批存書或加入書之日起發生效力。

五、行管國政府總理每一簽署之日起每一批存書或加入書

文件之日起本條約終止及收到召開會議之任何請求或

其他通知之日起，即速通知所有簽署及加入國家。

六、本條約應由行管國政府根據聯合國憲章第一百零二條空

記。

第十條

一、每一條約國倘斷定本條約事項有關之非常事件危害其本國最高權益，為行使國家主權起見，有權退出本條約。該國應於是約三個月前將此通知本條約所有其他締約國及聯合國安全理事會。此項通知應說明該國認為危害其最高權益之非常事件。

二、本條約發生效力二十五年後應召開會議決定本條約是否無限期繼續有效，如應延長一個或多個一定時間，此項決策應以條約通過半數之可決票為之。

第十一條

本條約之英文俄文法文西班牙文及中文各本同一作準一併留存在行管國政府總理、行管國政府總理本條約正式副本分送各簽署國及加入國政府。

為此，下列代表各真正授子之代表簽字於本條約以昭信。

本條約共三份於公曆一千九百六十八年七月一日

於倫敦莫斯科及華盛頓。

(参考)

この条約は、核兵器の拡散を防止することを目的として、核兵器国による核兵器の移譲等の禁止、非核兵器国による核兵器の受領、製造等の禁止、保障措置、原子力の平和的利用、核軍縮等について定めている。